

和 文 索 引

あ

アテローム血栓性脳梗塞 311
アフリベルセプト 277
アミノグリコシド系薬 75
アミノ酸輸液製剤 57
アミロイドーシス診療ガイドライン 2010 172
アミロイド関節症 177, 191
悪性腫瘍 249

い

イマチニブ 323
イリノテカン 319
イレウス 133
胃悪性リンパ腫 120
胃潰瘍 18
胃癌 120, 250
——の危険因子 81
——の手術成績 79
——の定型手術 121
胃癌治療ガイドライン 121, 125
胃術後経口摂取 121
維持投与量 70
異所性血管石灰化 210
胃切除術 119
——の成績 121
胃穿孔 125
一過性脳虚血発作 310
一次治癒 26
溢水 69
陰圧式ドレーン 29

う

植え込み型除細動器 218
烏口肩峰靱帯 174

え

エタノール注入療法（肝） 113
エテルカルセチド 18
エベロリムス 260
エラスターゼ 1 115
エリスロポエチン 36
妊娠と—— 302
栄養管理 49
栄養投与経路 50
壊疽 204

か

カテーテル
——位置異常 169
——入れ替え方法 241
——合併症 22
——感染 244
——感染対処方法 245
——再開法 169
——挿入手技 237
——つなぎ使用 247
——的血栓破砕・吸引術 100
——出口部のデザイン 166
——と出血 242
——の分類と特徴 236
カフ型—— 232
経皮血管内——治療 181
血液浄化用—— 235
血管内留置—— 232
腹膜透析用—— 164
カルシウム・リン代謝異常 212
カルシウムフリー透析 39
カルシウム受容体作動薬 18
カルチノイド腫瘍 120
カルバペネム系薬 71
カルボプラチン 320
開頭ネッククリッピング術 310
下大静脈フィルタ 100
下腿切断 184
合併症対策 42
下腹部切開示指挿入矯正法 169
下部消化管
——手術 128
——穿孔 133
肝癌治療 110
肝癌取り扱い規約 112
看護 325
肝細胞癌治療アルゴリズム 111
眼疾患 273
関節鏡手術 173
肝切除術 112
感染 31
——のコントロール 184
冠動脈狭窄 21
冠動脈疾患 208, 209
眼内レンズ 275
がん薬物療法時の腎障害診療ガイドライン 2016 318
肝予備能 110

き

キーセルバツハ部位 283
キノロン系薬 76
気道確保 65
救肢 181, 199
急性硬膜下血腫 315
急性膝炎 115
——浮腫型 116
急性創傷 26
急性虫垂炎 130
急性腹症 146
——の CT 所見 147
吸入麻酔薬 64
胸腔鏡下手術 93
胸腔ドレーン 98
鏡視下手術 296
恐怖 88
局所陰圧閉鎖療法（NPWT） 182
局所抗凝固法 39
虚血性大腸炎 148
虚血性腸炎 133
——発症部位 149
緊急手術 66
——の成績 82
筋弛緩薬 64
筋力低下 89

<

クラリスロマイシン 76
グリコペプチド系薬 71
グルコース-インスリン療法 45
区域麻酔 63
くも膜下出血 309

け

ゲフィチニブ 323
経腸栄養剤の選択 56
経腸栄養食品（腎疾患用） 55
系統的肝切除術 112
経皮的冠動脈形成術（PCI） 47
経皮的血管拡張術（PTA） 19
——施行の“3カ月ルール” 19
経皮的血管内カテーテル治療 181
痙攣 71
外科的血栓摘除術 100
血液凝固障害 31

血液浄化用カテーテル 235
血管
——伸展 222
——のリコイル 221
血管石灰化 210
血管内コイル塞栓術 310
血管内超音波 (IVUS) 222
血管内治療 221
血管内膜損傷 224
血管内留置カテーテル 232
月経異常 303
月経困難症 303
血行再建 181, 199
血腫
——除去術 308
——増大 307
血腫洗浄ドレナージ術 314
血栓性閉塞 245
血栓摘除術 100
血中濃度曲線下面積 (AUC) 70
肩関節症 174
原発性副甲状腺機能亢進症 291
こ
抗 VEGF 抗体硝子体内投与 277
高カリウム血症 66
高カルシウム血症 292
交感神経活動 61
抗癌薬 317
——の減量方法 321
抗凝固薬 43, 63, 98, 103
無——透析 40
抗菌薬 70
——の投与法 72
高血圧関連の合併症 301
抗血小板薬 38
好酸球性副鼻腔炎 286
後出血 (胃) 125
甲状腺癌の手術適応 295
甲状腺乳頭癌 294
後腹膜腔維持洗浄 116
硬膜外麻酔 63
高齢化と栄養 58
高齢者 20
——の腎移植 260
高齢レシピエント 260
股関節疾患 190
骨折 191
孤立状態 89
さ
再 PTA 228

再血行再建回避率 210
最高血中濃度 (Cmax) 70
最小発育阻止濃度 (MIC) 70, 71
再挿管 65
最大耐容量 319
在宅透析 247
再癒着防止 143
酸素の供給 31
し
シクロスポリン 260
シスプラチン 322
シナカルセット 18, 292, 293
シャント肢の腫脹 217
自家静脈内シャント (AVF) 設置
困難 232
子宮体癌 304
子宮脱 304
死腔 28
肢切断 180
しびれ 177
周産期透析導入 303
周術期
——栄養管理 49
——合併予測 84
——危険因子 79
——血液浄化 21
——死亡原因 79
——の出血傾向対策 35
——の水分管理 61
周術期管理 20, 42, 134
重症下肢虚血 181
重症虚血肢 198
集中治療室 → ICU を見よ
主幹動脈狭窄 311
粥状硬化性病変 311
手根管開放術 173
手根管症候群 171
手術危険度 17
——のスコア化 86
——の把握 82
手術時の体液動態 66
手術侵襲
——とエネルギー 52
——と輸液 62
手術成績 21
手術適応 17, 43
腫大腎 265
出血傾向 21, 36
出血時の対応 38
術後
——IVH 44

——グルコース-インスリン療法 45
——高熱 289
——出血 38, 106
——水腎症 255
——せん妄 326
——長期管理 212
——ドライウエイト管理 44
——のケア 325
——の血液浄化 134
——の抗凝固薬 98
——放射線治療 107
術後管理 44
術後補助化学療法 106
出産 300
術前
——検査目標値 134
——のケア 325
——ヘモグロビン値 66
術前化学療法 104
術前管理 43
——指針 61
術前絶飲食ガイドライン 64
術前透析 134
——時の抗凝固薬 63
——時の除水量設定 62
術中神経モニタリング 296
術中副甲状腺ホルモンモニタリング 292
手背
——アミロイド沈着 177
——の疼痛 178
主要心事故 209
循環系副作用 63
循環変動 61
循環抑制 63
消化管悪性腫瘍の発生頻度 109
消化管間質腫瘍 (GIST) 120
消化管穿孔 146
消化器手術術中管理 44
小細胞肺癌 95
硝子体手術 279
常染色体優性多発性嚢胞腎 (ADPKD) 265
小腸小腸吻合 131
静脈グラフト 202
静脈経腸栄養ガイドライン 53
静脈麻酔薬 64
初期投与量 (抗菌薬) 70
除水量設定 62
腎移植 251
心合併症率 84

心機能検査 78
腎機能低下時の抗がん薬減量方法 321
神経内分泌腫瘍 120
心血管イベント発生率 85
心血管系合併症 66
心血管疾患 60
心血管手術 22
心原性脳塞栓症 313
人工肛門造設術 150
人工股関節全置換術 191
人工呼吸器管理 98
人工骨頭置換術 191
人工弁 212
心事故回避率 210
心疾患 207
腎疾患用の経腸栄養食品 55
腎収縮率 268
侵襲性治療の危険度 78
腎縮小効果 266
腎症と網膜症の経過 280
心臓カテーテル検査 212
心臓再同期療法 (CRT) 218
心臓リスク評価とケアのアルゴリズム 86
身体状態分類 85
身体的拘束 89
腎動脈塞栓術 (TAE) 266
——術中術後の管理 267
腎排泄型薬物 71, 318
心不全 84
心房・心室ユニバーサルペーシング (DDD) 217
心房同期心室抑制 (VDD) 217
心房内塞栓栓子 313
心房抑制型ペーシング (AAI) 217
腎容積 268

す

スガマデクス 65
ステージ 5D の食事療法基準 52
ステロイド 140
ステント留置術 311
ストレス 89
膵炎の重症度判定 115
膵癌 116
膵管内乳頭粘液性腫瘍 (IPMN) 116
水腎症 255
水分バランス 43
膵分泌性トリプシンインヒビター

(PSTI) 115
水溶性薬物 75
センチネルリンパ節生検 105
生体腎移植生着率 263
生理学的恒常性の破綻 150
脊髄くも膜下麻酔 63
石灰化病変 198
石灰化を有する嚢胞 268
切迫早産 301
穿孔 (胃) 125
全静脈麻酔 64
全身麻酔 18, 21, 62
——とドライウエイト 46
せん妄 326
前立腺癌 253

そ

ソラフェニブ 113
ソルビトール溶液 151
創縁
——の緊張 28
——の血流障害 28
創傷治療 25
——の過程 27
——のメカニズム 27
創傷の分類 30
増殖糖尿病網膜症 277
総大腿動脈狭窄・閉塞 200
創の縫合 29
僧帽弁狭窄 212
僧帽弁輪の石灰化 211
足趾感染 182
足病変 181
鼠径管の開放 158
鼠径部切開前方到達法 158
鼠径ヘルニア 156
——の術式 157
組織の脆弱性 21

た

タクロリムス 260
ダブルルーメン型カテーテル 237
タモキシフェン 141
体液動態 66
待機手術 79
胎児心拍モニタリング 302
胎児発育不全 301
代謝拮抗薬 322
大切断術 184

——後の生命予後 185
大腿骨近位部骨折 191
大腿骨頸部骨折 191
大腿骨転子部骨折 191
大腿・膝窩動脈バイパス 202
大腿切断 184
大腸癌 129
——手術成績 81
——の危険因子 82
大腸癌治療ガイドライン 130
大腸憩室症 131
大腸切除術 79
大腸穿孔 151
大腸ポリープ 130
大動脈弁
——狭窄 211
——石灰化 211
多剤併用 319
多焦点眼内レンズ 276
多発性嚢胞腎 113
担癌者の予後予測 249
弾性リコイル 221
胆石症 114
胆嚢収縮能 114
蛋白結合率 319
——の低下 69
弾撥指 176

ち

チーム医療体制 66
蓄膿症 286
恥骨後式前立腺全摘除術 253
中心静脈栄養 57
中性化透析液 139
注排液異常 169
肘部管症候群 176
長期血流維持 221
長期透析患者 314
腸閉塞症状 138
鎮痛 63

て

テイクプラニン 74
デスフルラン 64
デブリッダー 288
低アルブミン血症 69
低栄養 30
低血圧 61
低侵襲処置 22
適応拡大治療切除 (胃癌) 125
適応拡大病変 (胃癌) 125
出口部感染 169

出口部変更術 169
電気・ラジオ波による凝固 284

と

トリーク眼内レンズ 275
ドライウエイト 62
——の変化 270
術後—— 44
トラスツズマブ 106
トラフ濃度 74
ドレナージ手術 116
トンネル感染 169
頭蓋内圧亢進症状 315
動静脈シャントとカフ型カテーテル 246
透析アミロイド症 171, 194
透析時静脈栄養 58
透析腎癌 251
透析性 69, 319
——とピーク濃度 75
透析での薬物除去 69, 319
疼痛 326
糖尿病と手術 22
糖尿病網膜症 276
頭部外傷 315
動脈硬化 207
動脈石灰化 198, 207
動脈表在化 247
投与タイミング 318
毒素性ショック症候群 289

な

ナファモスタットメシル酸塩
37, 40, 43, 44, 121
内視鏡下血腫除去術 308
内視鏡下甲状腺・副甲状腺手術
296
内視鏡手術（手） 173
内視鏡的粘膜下層剥離術
→ESD を見よ
内視鏡的粘膜切除術 →EMR を
見よ
内シャント造設側の乳癌 104
内膜剥離術 311

に

二次性副甲状腺機能亢進症 292
二次治療 26, 27
日本甲状腺外科学会ガイドライン
295
日本透析医学会バスキュラーア
セスガイドライン 234

乳癌 102
内シャント増設側の—— 104
乳腺疾患 102
——の術前透析 103
乳腺部分切除 105
乳頭癌 298
乳房再建 105
乳房切除術 105
妊娠 300
——とエリスロポエチン 302

の

ノンスタイレット法 168
脳萎縮 313
脳虚血 310
脳血行再建術 307
脳血栓症の再発率 307
脳障害 309
脳卒中治療ガイドライン 2015
308
脳内出血 307
脳浮腫に対する点滴治療 307
嚢胞肝手術 113

は

バイパス術 202
CLI 患者の—— 181
ハイパフォーマンス膜 70
パクリタキセル 228
バシリキシマブ 260
バスキュラーアクセス（VA） 19
——血管拡張機序 221
——病変の血管内治療 220
バランス麻酔 62
バルーンによる血管拡張 222
バンコマイシン 74
肺癌 94
肺血栓塞栓症 98
白内障手術 273
跛行肢 198
白金製剤 320
ばね指 175
反回神経 293
——温存 296
半減期 74
汎発性腹膜炎 150

ひ

ピーク濃度 75
ビタミン C 30
皮下トンネル作製 239
皮下ポケットの作製 239

肥厚性瘢痕 31
鼻出血 282
——電気凝固 284
非小細胞肺癌 95
非心臓手術における合併心疾患の
評価と管理に関するガイドライ
ン 83
鼻内内視鏡手術 284, 287
被嚢性腹膜硬化症 →EPS を見
よ
非閉塞性腸間膜虚血症（NOMI）
131, 148
被膜形成 138
貧血 36, 302

ふ

フィブリン膜 138
プラーク圧縮 222
プロボフォル 64
不安 88, 325
腹腔鏡下胃切除術 123
腹腔鏡下根治的腎摘除術 251
腹腔鏡（下）手術 130, 251,
304
腹腔鏡下前立腺全摘除術 253
腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術
156
腹腔洗浄 139
腹腔内圧上昇 158
副甲状腺出血性梗塞 296
副甲状腺摘出術（PTx） 18, 292
——困難症例 294
——の術式 294
——のレスキューセラピー
293
副甲状腺ホルモンのモニタリング
292
副腎摘除 250
腹部手術 22
腹膜機能検査（PET） 139
腹膜線維化予防 141
腹膜透析 136, 158
——用カテーテル挿入術 164
——離脱 164
腹膜肥厚 137
腹膜劣化 136
浮腫 69
不整脈 215
分子抗体療法 106
分子標的（治療）薬 297, 323
分布容積 69, 319
分娩管理 303

へ

ペーシングモード 217
ペーシングリード挿入 217
ペースメーカー適応 216
ペナンプラ 312
ヘパリン 37
ヘマトクリット 37
ペリトネアルアクセス (PA)
19
米国麻酔医学会による身体状態分
類 85
閉塞性脳血管障害 310
弁膜症 210

ほ

ポスト ICU 症候群 89
ホスホマイシン 76
ポリスチレンスルホン酸カルシウ
ム 151
ポリスチレンスルホン酸ナトリウ
ム 151
抱合型エストロゲン製剤 37
膀胱癌 254
——の Stage 255
膀胱全摘除術 255
縫合不全 21
放射線照射 31
放射線性皮膚炎 107
放射線治療 107, 297
歩行機能 199

ま

マクロライド系 76
麻酔 20, 96, 104
——前投薬 64
——中のモニタリング 65
——導入 65
——方法 62

——リスク 60

末梢神経ブロック 63
末梢動脈疾患 (PAD) 181, 197
慢性肝障害 110
慢性硬膜下血腫 313
慢性腎臓病に対する食事療法基準
50
慢性腎臓病に伴う骨・ミネラル代
謝異常の診療ガイドライン
292
慢性膀胱炎 116
慢性創傷 26
慢性副鼻腔炎 286

み

ミコフェノール酸モフェチル
260
ミニマム創内視鏡下前立腺全摘除
術 253
未分化型成分 (胃癌) 125

む

無抗凝固薬透析 40
無症候性心筋虚血 21

め

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌
(MRSA) 71
メッシュ感染 160
免疫抑制療法 260

も

網膜疾患 273
燃え尽き網膜症 275

や

薬剤溶出性バルーン 226
薬物
——維持投与量 70

——血中濃度モニタリング 69
——初期投与量 70
——除去 70
——透析性 69, 319
——透析性とピーク濃度 75
——分布容積 69, 319
——用量調整 318

薬物動態 68, 70
薬力学 70

ゆ

有害事象のモニタリング 317
輸液 66
輸血 66
癒着剥離術 141

よ

用量調整 318

ら

ラクナ梗塞 312
ラジオ波凝固 284
ラジオ波焼灼療法 113
ラニビズマブ 277

り

リスクマネジメント 66
リツキシマブ 260
離床 326
流早産 301
流体力学的血栓除去術 100

れ

レミフェンタニル 64

ろ

ロクロニウム 64
ロボット支援前立腺全摘除術
253

欧 文 索 引

3DCTA 310
5-FU 322

A

ABI (ankle brachial pressure
index) 198
ABO 血液型不適合腎移植 262
ACDK (acquired cystic disease of
the kidney) 250

AngioSculpt balloon 226
ANSWER-VAS 226
ASA 分類 21
ASA-PS 60
AUC 70
AUC/MIC 70
AVF 設置困難 232

B

β ラクトム系薬 71
B 型肝炎ウイルス 110
burned-out retinopathy 275,
280

C

C 型肝炎ウイルス 110

CABG (coronary artery bypass graft) 208
Child 分類 112
CKD ステージによる食事療法基準 51
CLI (critical limb ischemia) 181, 198
——患者のバイパス術 181
——の創傷管理 182
Cmax 70
Cmax/MIC 70

D

damage control surgery 150, 183
DCB (drug-coated balloon) 226
dead space 28
DLBCL (diffuse large B-cell lymphoma) 120
DOPPS 208

E

EMR (endoscopic mucosal resection) 123,130
——/ESD の根治性評価 125
EPS (encapsulation peritoneal sclerosis) 133, 136
——術式選択 144
——の発症様式 137
ESD (endoscopic submucosal dissection) 123,130
——の根治性評価 125
EVT (endovascular treatment) 181, 199

F

FeDCLIP 202
floating type 287
focused parathyroidectomy 292
Fontaine 分類 197

G

GIST (gastrointestinal stromal tumor) 120

H

Hartmann 手術 133
HBs 抗原陽性率 110
HBV 110

HCV 110

I

I¹³¹ 30mCi の内用療法 297
ICU (集中治療室) 88
——AW (ICU-acquired weakness) 89
——症候群 88
——精神異常 88
——滞在期間 89
ポスト——症候群 89
IDPN (intradialytic parenteral nutrition) 58
IPMN (intraductal papillary mucinous neoplasm) 117
IVUS (intravascular ultrasound) 221

K

Kugel 法 162

M

MALT リンパ腫 120
Mesh plug 法 160
MIC 70, 71
mortality 82
MRSA 71
MTD (maximum tolerated dose) 319
multi foci 乳頭癌 298

N

NOMI (non-occlusive mesenteric ischemia) 148

O

OCT (optical coherence tomography) 222
Osborne 靱帯の切離 176

P

PAD (peripheral arterial disease) 181, 197
PCI (percutaneous coronary intervention) 208
PD (pharmacodynamics) 70
PEIT (percutaneous ethanol injection therapy) 293
PK (pharmacokinetics) 70

PK-PD パラメータ 70
primary amputation 204
PSA スクリーニング 253
PSTi 115
PTA

再—— 228
PTH モニタリング 292
PTx (parathyroidectomy) →副
甲状腺摘出術を見よ

Q

QOV (quality of vision) 281

R

Revised Cardiac Risk Index 85
Rutherford 分類 197

S

SBE (shoulder blade exit) 165
SHPT (secondary hyperparathyroidism) 292
SMAP (stepwise initiation of PD using the Moncrief and Popovich technique) 法 166
SOFA (sequential organ failure assessment) score 83
SPIED (short term PD induction and education technique) 法 167

T

TAE 266
TAPP (transabdominal peritoneal approach) 法 159
TASC II update 199
TDM (therapeutic drug monitoring) 69, 318, 319
TEP (totally extraperitoneal repair) 法 160
TIME 理論 29
time above MIC 70

V

VATS (video-assisted thoracic surgery) 93

W

WBP (wound bed preparation) 29